

## 第二種奨学金(海外)返還誓約書記載事項訂正届

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿 「返還誓約書」を提出するにあたり、「返還誓約書」上で印字訂正(変更)した内容を届け出ます。

記入必須	奨学生本人	訂正届記入日 (西暦) 年 月 日	奨学生番号	8 - 0 -		学籍番号			
		住民票(除票)に記載の国内住所	〒	—	都道府県	電話番号	—	—	
		フリガナ	セイ	メイ	生年月日	昭・平	年	月	日
		氏名	姓	名	続柄	続柄コード			
		訂正(変更)がある場合は該当に○印を付けて下さい。		郵便番号・住所・電話番号・携帯番号					
		※奨学生本人の氏名・フリガナ・生年月日の訂正(変更)には別途手続きが必要ですが(この用紙に記入するには正しい(変更後の)内容で記入してください。)							
「返還誓約書」上で訂正(変更)があった人物の欄を全て記入(原則、欄の人物が記入)	連帯保証人	住民票に記載の国内住所	〒	—	都道府県	電話番号	—	—	
		フリガナ	セイ	メイ	生年月日	昭・平	年	月	日
		氏名	姓	名	続柄	続柄コード			
		訂正(変更)事由	※続柄コードについては裏面参照のこと						勤務先名
保証人	保証人	住民票に記載の国内住所	〒	—	都道府県	電話番号	—	—	
		フリガナ	セイ	メイ	生年月日	昭・平	年	月	日
		氏名	姓	名	続柄	続柄コード			
		訂正(変更)事由	※続柄コードについては裏面参照のこと						勤務先名
(国内連絡先)	国内の現住所	住民票に記載の国内住所	〒	—	都道府県	電話番号	—	—	
		フリガナ	セイ	メイ	生年月日	昭・平	年	月	日
		氏名	姓	名	続柄	続柄コード			
		訂正(変更)事由	※続柄コードについては裏面参照のこと						勤務先名
親権者1	国内の現住所	住民票に記載の国内住所	〒	—	都道府県	電話番号	—	—	
		フリガナ	セイ	メイ	生年月日	昭・平	年	月	日
		氏名	姓	名	続柄	続柄コード			
		訂正(変更)事由	※続柄コードについては裏面参照のこと						勤務先名
親権者2	国内の現住所	住民票に記載の国内住所	〒	—	都道府県	電話番号	—	—	
		フリガナ	セイ	メイ	生年月日	昭・平	年	月	日
		氏名	姓	名	続柄	続柄コード			
		訂正(変更)事由	※続柄コードについては裏面参照のこと						勤務先名

※氏名欄にアルファベットを記入することはできません。カタカナ表記で記入してください。  
 ※この届出用紙を使用して記入・作成後はご自身で写し(コピー)を保管してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

← 奨学生本人欄は記入必須です。奨学生本人の印字内容に訂正(変更)がない場合であっても、もれなく記入してください。

この用紙の提出のみでは訂正(変更)はできません。必ず「返還誓約書」上でも訂正を行ってください。

## [ 様式7-裏 ]

### 本様式について

- (1) この様式は「返還誓約書」の提出にあたり、**印字された事項を訂正(変更)する場合にのみ**使用します。次の場合には使用できませんのでご注意ください。
  - (2) 「返還誓約書」の**署名・押印のみ**の訂正  
⇒この様式の提出は必要ありません。
  - (3) 「返還誓約書」の**奨学生本人の氏名・性別・生年月日**の訂正  
⇒別途手続きが必要です。機構へ連絡してください。
- (4) この様式の記入に、鉛筆、消せるボールペンは使用できません。
- (5) 記入を誤った場合は、二重線で消し余白に記入してください。訂正印は不要です。

### 印字内容の訂正方法について

「返還誓約書」の印字内容の主な訂正方法は以下のとおりです。

訂正(変更)内容	訂正方法
連帯保証人・保証人等の人物変更	「返還誓約書」の印字を二重線で訂正(訂正印を押印)し、署名押印欄に新たな人物が署名押印。この様式の本人欄及び変更する人物の欄を全て記入。
連帯保証人・保証人等の氏名訂正(変更)	「返還誓約書」の印字を二重線で訂正(訂正印を押印)し、当該人物の署名押印欄に正しい氏名で署名押印。この様式の本人欄及び氏名訂正した人物の欄を全て記入。
印字されていない人物・項目の追加	「返還誓約書」の印字されていない部分に当該人物が直接記入し、署名押印。この様式の本人欄及び印字されていない部分があった人物の欄を全て記入。
上記以外の項目の訂正(変更)	返還誓約書の印字を訂正(訂正印を押印)し、この様式の本人欄及び訂正があった人物の欄を全て記入(本人の氏名、フリガナ、生年月日の訂正は別途手続きが必要)。

### 続柄コード

※「続柄」欄には奨学生本人から見た具体的な続柄を記入し、次のコード表の対応する数字(3桁)を 

--	--	--

 に記入してください。

続柄	コード
父	111
母	211
兄弟	321
姉妹	323
祖父	421
祖母	423
おじ	431
おば	433

続柄	コード
甥	435
姪	437
いとこ	441
子	411
その他(4親等以内)	443
その他(知人等)※	491

続柄	コード
兄弟(未成年後見人)	322
姉妹(未成年後見人)	324
祖父(未成年後見人)	422
祖母(未成年後見人)	424
おじ(未成年後見人)	432
おば(未成年後見人)	434

続柄	コード
その他(4親等以内・未成年後見人)	444
その他(知人等・未成年後見人)	492

※義父母・離婚した父母等を保証人に選任する場合は「その他(知人等)」の取扱いとなりますので、「義父」「離婚した父」等と記入したうえで、コード「491」と記入してください。

### 選任条件

連帯保証人【原則、父母】	保証人【原則、おじ・おば・兄弟姉妹】
①奨学生が未成年者の場合は、親権者 (親権者がいない場合は未成年後見人) ②奨学生が成年者の場合は、父母。父母がいない等の場合は、4親等以内の親族	①父母以外の人 ②奨学生及び連帯保証人と別生計の人 ③連帯保証人の配偶者・婚約者でない人 ④4親等以内の親族(※) ⑤届出日時点で65歳未満の人(※)
連帯保証人・保証人共通の条件	①奨学生の配偶者・婚約者は選任できません。 ②未成年者・学生・債務整理中(破産等)の人は選任できません。 ③貸与終了時(貸与終了月の末日時点)にあなたが満45歳を超える場合は、その時点で60歳未満の人でなければ選任できません。

(※)代替要件

連帯保証人については「4親等以内の親族」(前記条件②)、保証人については「4親等以内の親族」(前記条件④)の条件だけを満たさない場合、「返還保証書」及び資産等に関する証明書類の提出により「貸与予定総額の返還を確実に保証できる資力を有すると認められる人」であれば選任ができません。なお、保証人について「届出日時点で65歳未満の人」(前記条件⑤)の条件だけを満たさない場合は、「返還誓約書」提出時に、本人・連帯保証人が連署押印した「事情書」の提出が必要です。